

# Our Team

唐牛 宏 かろうじ・ひろし 専門分野:天文学

IPMU 教授



4月に国立天文台からやってまいりました。その直前に政府の総合科学技術会議（CSTP）と内閣府で決定された「最先端研究開発プログラム」30課題の中に、村山機構長の提案「宇宙の起源と未来を解き明かす—超広視野イメージングと分光によるダークマター・ダークエネルギーの正体の究明—」（参照：<http://www.ipmu.jp/ja/node/478>）が選ばれ、この新プロジェクト（愛称はご存知の“SuMIRe”）の研究支援スタッフとして活動することになりました（正式のカタガキは研究支援統括者といいます）。機構長のリーダーシップのもと、主にすばる望遠鏡に搭載する2つの巨大装置の建設計画の運営を担当します。1989年からつい先日まで、すばる望遠鏡の建設、立上げ、運用に深くかかわってききましたので、“スマレ”計画の前半

部である装置開発という難事業になんとか貢献したいと思っております。

## ソウラブ・マンダル Sourav K. Mandal 専門分野:理論物理学

博士研究員

素粒子の標準模型は、種々の実験事実の説明に目覚ましい成功を収めている一方、未解決のまま残されている、次のような大きな問題があります。暗黒物質の正体は何か？ ある種の素粒子は、なぜ他の素粒子よりはるかに重いのか？ TeVスケールの理論を支配するのは何か？ 等々です。私の最近行っている研究は、暗黒物質の性質についての新たな天体物理学からの制限について調べることと、どうすれば超対称性が上記の3つの問題に答えを与える可能性をもつかについて



理解することです。私は次世代の実験がこれらの謎に迫る貴重な知識を与えてくれることを待ち望んでいます。

## 齋藤 智樹 さいとう・ともき 専門分野:天文学

博士研究員

宇宙には無数の銀河があり、約130億年前には銀河が存在していたことが知られています。しかしそれらがまさに生まれている現場は、誰も見たことがありません。私はこれまで、そうした銀河の「種」を、各国の大望遠鏡を用いて探査する研究を進めてきました。これまで理論的なアプローチしかできなかった領域へ、観測で切り込む研究です。これをさらに推し進めるべく、すばる望遠鏡次世代広視野カメラの開発を行っています。来るべき30m 級望遠鏡の時代、「原始銀



河の直接観測」の時代に向け、この数年でその地歩固めを行っていきたいと考えています。

Our Team